

# 公園内で見られる植物

写真は12月16日(日)  
自然観察会で見られた  
植物です



### モチノキ (モチノキ科)

果実は核果。先端には4浅裂した柱頭が残っている。11月～12月に赤く熟す。



### アセビ (ツツジ科)

花芽／11月頃にのびだしてくる。用途／葉を煎じて殺虫剤にする。



### カクレミノ（ウコギ科）

若木の葉は深く3～5裂するが、成木では菱形状広卵形または広卵形で、切れ込みはない。隠れ蓑は、着ると姿を隠すことができるという蓑のことで、葉をこの蓑に見立てたもの。



### トベラ（トベラ科）

枝や葉の臭気が鬼よけに効果。節分にトベラの枝を戸口にさして疫鬼を追い払った風習から「扉の木」「扉」と呼ばれるようになったという。



### タブノキ (クスノキ科)

スギの枝とタブノキの葉を混ぜて線香を作る。



### ツルシキミ (ミカン科)

別名ツルミヤマシキミ。幹の基部が地上をはうのが特徴で、葉や花、果実などはミヤマシキミとほとんど同じ。



### ネズミモチ (モクセイ科)

名前の由来／果実の色や形がネズミの糞のようで、葉がモチノキに似ていることによる。



### ネジキ (ツツジ科)

冬芽をつけた枝は、赤くてめだち花材に使う。



### シラカシ (ブナ科)

カンナの台や金槌の柄などの器具材、建築材、船舶材、シイタケの原木に使われる。



### ヤマモモ (ヤマモモ科)

樹皮にはタンニンが含まれ、漁網を染める染料や薬用に利用される。